

演繹法

演繹法ってなに？

一般的かつ普遍的な事実
(ルール・セオリー) を前提として



結論を導き出す

気をつけるべきこと

プロセスの特性上、非常に強い説得力をもつ推論方法

↓ しかし

~~前提として選定した一般論や普遍的事実に偏った主観
が混じってしまうと論理が破綻~~

正しい例

一般的かつ普遍的な事実（ルール）

- 「メリットがデメリットを上回る場合、プロジェクトを実行する」

事例

- 「投資案件Bは、メリットがデメリットを圧倒的に上回る」

結論

- 「投資案件Bを実施すべきだ」

正しくない例

一般的かつ普遍的な事実（ルール）

- 「製造業では会社の売り上げが大きいほど規模の経済が働き、単位あたり製造コストは安くなる」

事例

- 「GMはフォードより売上高が大きい」

結論

- 「GMはフォードより単位あたり製造コストが安い」